

市民と市政をつなぐ 小田原市議会議員 しのはら弘

まちづくり
情報紙

かけはし



発行者 | 自宅：〒250-0858 小田原市小台322-5
篠原 弘 | 事務所：〒250-0857 小田原市柳新田48 広貴商事ビル1階

TEL：090-1652-3900 / FAX：0465-37-4381
E-mail：shinohara.hiroshi1116@gmail.com

5月8日からコロナ「5類」でどう変わるか

	行動制限	マスク	入院 診察	医療費	ワクチン
現在 (2類相当)	できる	屋内では 推奨	発熱外来 など一部	公費負担	無料
5類移行後	できない	3月13日から 個人の判断	幅広い医療 機関で対応	段階的に 自己負担へ	当面は 公費負担

コロナ5類 正式決定

マスクの着用 個人判断

政府は1月27日、これまでと大きく異なる変異株が出現しない限り、感染法上の2類に位置づけられている新型コロナウイルス感染症を、5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行することを決めました。この移行に伴い、現在の医療費の自己負担分に対する公費支援などは段階的に縮小されます。またマスク着用については、3月13日から緩和することを決定しました。

行動制限はなくなる

5類への移行で、これまで行われてきた「行動制限がなくなります。行動制限とは「緊急事態宣言」「入院勧告・指示」「感染者や濃厚接触者の外出自粛」「飲食店の営業時間の短縮」などの要請です。

マスクの着用は個人の判断(2月10日政府発表)

3月13日から個人の判断

マスクの着用は、3月13日から、原則として着用することは推奨せず、個人の判断に委ねることとされました。

ただ、高齢者などへの感染防止の観点から「医療機関の受診時」や「混雑した電車やバスの乗車時(全員が着席できる新幹線や高速バス等は除く)」などでは着用を推奨しています。

学校も4月1日から着用を求めない

学校も4月1日から「着用を求めないことが基本」となり、児童生徒に着脱を強いることがなくなります。

卒業式もマスクを着けずに出席することが基本になります。

治療費や入院費などの公費負担は段階的に縮小

治療や入院といった医療費の公費負担については、当面は公費での負担を継続した上で段階的に

見直し(縮小)していく方針となりました。

政府は、医療費の自己負担分に対する公費支援については、3月上旬をめどに具体的な方針を示すとしています。

コロナ患者は原則すべての医療機関で受診できる

コロナ患者やコロナ疑いの発熱患者は、原則すべての一般医療機関で受診できるよう、段階的に広げられます。今後、具体的な内容の検討・調整が進められます。

必要なワクチン接種は自己負担なく受けられる

ワクチン接種は、予防接種法に基づき無料で実施されてきましたが、4月以降、ワクチン接種をどのように行っていくべきか、専門家による検討が行われています。

必要な接種については、引き続き自己負担なく受けられるようになります。

「感染症法」とは

感染症法の正式名称は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で、感染症を「1〜5類」と「新型コロナウイルス等」などに分類しています。新型コロナウイルスは、現在、新型コロナウイルス等々に位置付けられ、結核などの「2類」に相当する位置づけになっています。

感染症法の分類

分類	主な感染症名
新型コロナウイルス等	新型コロナウイルス (2類に相当)
1類	エボラ出血熱、ペスト
2類	結核、重症急性呼吸器症候群(SARS)
3類	コレラ、細菌性赤痢、腸チフス
4類	黄熱
5類	インフルエンザ、梅毒

小田原市立病院の建て替え

新病院基本設計が完成

2026年春 開院めざす
(令和8)

2021年11月に市と竹中工務店・内藤建築事務所設計共同企業が契約し、検討を進めてきた新病院の基本設計が完成しました。建設基本計画に基づき、外観デザインや建物の規模、施設配置などのほか、各階の構成、各部門の配置、車・歩行者の動線などのあらましを定めました。今後、より詳細な実施設計を進めて、24年に着手、3年後の26年春の開院をめざします。



東ロータリー側から望む

外観イメージ

新病院の規模 (現市立病院との比較)

	新病院	現市立病院
所在地	小田原市久野46番地ほか	
延床面積	41,271.53㎡	23,562㎡
階層	地上9階建て	地上7階建て
ベット数	約400床	417床
駐車場	325台	272台
診療科目	27科(予定)	26科

※新病院では「口腔外科」を新設予定

新病院の使命 (建設基本計画)

- Q 地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携・協力をし、地域の医療ニーズに対応する。
- Q 三次救急医療を主体とする高度急性期・急性期医療を提供する。
- 総合的な診療機能を有する地域の基幹病院として、市民の安心の確保に努める。

Q 地域医療支援病院

その地域に住む人々が身近な場所で必要な医療が受けられるように、地域のかかりつけ医をサポートする立場にある病院として都道府県知事が承認。

Q 三次救急医療

二次救急（手術や入院が必要な重症患者）に対応する救急医療）では対応できない重篤患者や特殊疾病患者の受け入れを、より高度な救命救急医療を提供。



広々とした院内空間（ガレリアのイメージ）

基本設計の基本方針

- 良質で適切な高度急性期医療を提供する高性能な病院
- 効率的な医療を提供する病院

配置計画のコンセプト

- 1 命を守る迅速アプローチ
県道74号から救急玄関へ直結10秒でのアプローチ



- 2 安くて広いロータリー
一方通行とし、バス・タクシー・一般車の車寄せスペースを十分に確保。
- 3 24時間全患者を正面からダイレクトに受け止める時間外玄関
建物正面に時間外玄関を設け、わかりやすく患者の最短アクセスに配慮。
- 4 2階レベルでつながる立体駐車場を整備
来院者の利便性に配慮し、雨に濡れず病院へアクセス。
- 5 敷地を貫通するグリーンパス（緑の小道）
緑豊かなグリーンパスを計画することで環境に配慮。
- 6 車両動線を完全分離
救急、サービス、来院者を分離した専用ルートにより迅速アクセス。
- 7 アメニティモールの県道側に配置
新病院の新たな顔となるアメニティモールは、まちとの接点として計画。

2023（令和5年度）の会計別予算規模

会計名	予算額度	前年度比
一般会計	748億円	+5.35%
特別会計(10会計)	801億7,877万4千円	+20.67%
企業会計(3会計)	343億2,431万2千円	+2.59%
合計	1,893億 308万6千円	+10.77%

一般会計で過去最大

一般会計 前年度比38億円増

小田原市は2月14日、2023（令和5）年度の当初予算案を市議会に提出しました。一般会計の総額は前年度に比べ約184億円、10.77%増の約1893億円です。このうち行政運営の基本的な経費を処理する一般会計は、前年度比38億円、5.35%増の748億円です。3年連続で過去最大になりました。特に「子ども・子育て支援」「脱炭素移行」「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の推進に力を注いだ予算編成となっています。

一般会計 主な歳入

市税

新型コロナウイルスの回復基調で個人市民税は約5億3千万円の増収を見込む

歳入の約43%を占める市税は、新型コロナウイルスの影響からの回復基調により、個人市民税を前年度比で約5億3千万円の増収で見込み、32

4億6100万円を計上しています。

市債(借入金)

約40億円の借入れで令和5年度末残高見込みは約556億円

公共施設や道路などの整備にあてるための借入金である市債は、約40億円を計上。令和5年度末現在高は、返済金を増額したことにより、前年度比約10億円減の約556億円となる見込みです。

市では、市債の新規借入額を元金償還(返済)額の範囲内とすることを基本に残高の縮減に努めています。第6次総合計画の推進などにより、残高は増加しています。

財政調整基金(貯金) 25億円取り崩し

令和5年度末の残高見込みは約36億円

財源不足に備えるための市の貯金である財政調

整基金(令和4年度末残高約61億円)を25億円取り崩します。

一般的に積立額は標準財政規模の10%程度が適正とされており、令和5年度における小田原市の財政調整基金の適正規模は40億円程度になります。

標準財政規模

合理的かつ妥当な水準で行政を行うための標準的な一般財源の規模で、全国一律の算出方法に基づき、毎年度、普通交付税の算定時に算出されます。

一般会計 主な歳出(事業)

子ども・子育て支援 71億円

▼小児医療費の所得制限廃止(5億2916万9千円)

中学校卒業までの医療費自己負担に対し、所得制限を廃止し助成。

▼学校給食の物価高騰対策(8億955万7千円)

物価高騰等に対応するとともに、安定的に学校給食を提供。

▼出産・子育て応援事業(6千万円)

妊娠期と出産後に各5万円の給付と伴走型相談支援を実施。



おだぴよ子育て支援センター

脱炭素移行 22億円

▼ゼロカーボン・デジタルタウンの創造(15億5300千円)

元小田原少年院跡地を計画候補地とするゼロカーボン・デジタルタウンの基本構想策定委託料など。▼脱炭素移行・再エネ推進脱炭素先行地域づくり

事業補助金(8億7895万5千円)

民間施設の再エネ・省エネ設備の整備費を補助。▼民間施設の再エネ・省エネ設備の整備費の補助重点対策加速化事業(9億807万8千円)

民間施設や家庭用の再エネ・省エネ設備の整備費の補助など

デジタル・トランスフォーメーション(DX) 5億円

▼デジタル化によるまちづくり推進事業(7730万1千円)

デジタルを活用した端的サービスにより、市民の皆さんの暮らしやすさの向上など

デジタル・トランスフォーメーション(DX)

デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること。小田原市では「市民の利便性」と「行政基盤のDX」をめざしています。

ほんの少しの **小田原豆知識**

■「小田原」という地名の由来は諸説あり

「小田原」という地名の由来は諸説あるようです。

小田原の昔の地名である「小田留木（こゆるぎ）」の草書体を読み間違えたものという説や、荒地を開拓して水田にしたような地域を「田原」と称し、その規模によって大田原や小田原と呼んだことに由来しているとの説もあります。

小田原市史によれば、史料で確認できるのは、鎌倉時代末期の14世紀初頭に、小田原近辺の農村的情景を詠んだ歌の中に「小田はら」が見えるとしています。



平成元年頃の小田原駅

■小田原で最も多くの雨が降った日 2019. 10. 12

2019(令和元)年10月12日、過去最強クラスの台風19号が伊豆半島に上陸しました。

台風の接近、通過に伴い、東日本の広い範囲で大雨、強風となり、1日当たりの降水量が箱根町で922.5ミリ、小田原市では240ミリに達し、観測史上最高記録、100年に1度という記録的な大雨をもたらしました。市内では、床上浸水(27ヶ所)や床下浸水(131ヶ所)のほか、河川の護岸崩壊や酒匂川スポーツ広場などの冠水被害がありました。



酒匂川スポーツ広場の被害

■小田原城天守閣の入場者数 全国ランキング6位

全国の著名な城郭が加盟する全国城郭管理者協議会が取りまとめた、各城郭の総入場者数によると「小田原城天守閣」は、2022(令和3)年度に374,506人となり、全国51城郭のうちランキングが第6位になりました。



小田原城天守閣

小田原城天守閣が最多入場者数を記録したのは、展示リニューアルなどを行った後の2016(平成28)年度の775,406人で、そのときのランキングは第7位でした。

2022(令和3)年度 全国城郭入場者数上位ランキング

順位	城郭名	入場者(人)	順位	城郭名	入場者(人)
第1位	名古屋城天守閣	687,305	第4位	姫路城天守閣	444,131
第2位	元離宮二条城	536,193	第5位	松本城天守閣	403,905
第3位	熊本城天守閣	447,851	第6位	小田原城天守閣	374,506

■小田原市内の鉄道駅 思ったより多く18駅

市内には、東海道線、東海道新幹線、御殿場線、小田急線、箱根登山線、大雄山線の6路線が乗り入れており、計18の鉄道駅があります。



県内では、10以上の鉄道駅がある根府川駅舎から海を臨む市は、政令指定都市を除き、横須賀市21駅、小田原市18駅、藤沢市17駅、鎌倉市16駅です。

小田原市内にある18の鉄道駅名は最下段にあります。

よくいただくお問い合わせにお答えします

「まちづくり情報紙 かけはし」とは？

Q どのような目的で発行していますか？

市のまちづくりの取組など「分かりにくいこと」や「見えにくいこと」を拾い上げて、市民の皆様に分かりやすくお伝えするために発行しています。

Q どのように配布していますか？

発行の都度、新聞折込や希望する方への郵送、駅周辺での配布のほか、美容室や理容室、食堂などでも配っていただいています。全て無料配布です。

Q 記事の作成や編集は誰が行っていますか？

「手づくり」を基本に、情報収集や記事作成、紙面デザインなど、全て発行者(しのはら弘)が行っており、印刷のみ業者発注しています。

Q 文字が多すぎる気がします？

文字が多いと感じられた方は「太文字」「青文字」「表」だけお読みいただければ、ポイントをつかんでいただけるよう工夫しています。

Q 発行回数と発行部数はどのくらいですか？

原則年4回、春・夏・秋・冬に各30,000~50,000部発行しています。本早春号は、情報発信を急ぐ必要があったことから特集号として発行しました。

Q 郵送してもらえますか？

郵送ご希望の方は、1面最上段に記載の、しのはら弘まで「かけはし送れ」とご連絡ください。連絡方法はどのような形態でも結構です。

市内18の鉄道駅

①小田原駅 ②鴨宮駅 ③国府津駅 ④早川駅 ⑤根府川駅 ⑥下曾我駅 ⑦足柄駅 ⑧蛸田駅 ⑨富水駅 ⑩栢山駅 ⑪箱根板橋駅 ⑫風祭駅 ⑬入生田駅 ⑭緑町駅 ⑮井細田駅 ⑯五百羅漢駅 ⑰穴部駅 ⑱飯田岡駅